岡山市区づくり推進事業助成申込書

（地域活動部門）

令和 6 年 1 月 19 日

岡山市長　大　森　雅　夫　様

フリガナ　イシイジュウジニマナブカイ
団体名　石井十次に学ぶ会
所在地　[redacted]
連絡先
フリガナ
代表者

※提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	（該当の分野を○で囲んでください。） (ア) 地域課題解決　イ 地域課題掘り起こし ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり　(オ) その他
事業名称	石井十次に学ぶ会
事業実施小学校区・地区	大宮地区
事業実施回数	新規　(継続)　6　回目　/　【令和元年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 大宮地区は岡山市東南端に位置し、自然豊かな環境の中にある。しかし、少子高齢化が急速に進み人口の減少が止まらない。又、現代の「他人への無関心が生む希薄な人間・近隣関係」によりコミュニティづくりが不十分になり、地域行事の遂行にも支障をきたすようになってきている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 石井十次は福祉という言葉がなかった明治の時代にわが国で初めて岡山孤児院を創設した偉人であり、大宮地区は十次が初めて子どもをあずかり、孤児院発祥となった地である。石井十次の功績を学び、顕彰する活動を通して人が人を信じ、助け合う精神を知り、それに触れ広めていくなかで、地元への愛着と住民間のコミュニケーションを作り出し、ゆかりの地に相応しいコミュニティを築くことを目的とする。 今後は石井十次の偉業を広めるとともに、教えを今に生かすため高齢者の支え合いや子どもの見守り・放課後の支援等、地域福祉に役立つ活動を実施していきたい。

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1 石井十次資料室を充実させ、活用する 2 学習会を開催する 3 団体向けの研修を受け入れる(高校生・各種団体を対象) 4 石井十次ゆかりの地を訪ね、交流を深めていく 5 石井十次ゆかりの上阿知大師堂、診療所跡地の保全活動(清掃、草刈り) 6 HP・冊子・「十次通信」(年4回発行)による広報活動を行う 7 紙芝居(石井十次物語)を団体研修、福祉・公共施設、高齢者のサロン等で実施する 8 上阿知大師堂での接待を継続して行い石井十次の業績を多くの人に知ってもらう
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 1 石井十次の偉業を知り、学区内外の人に広めたい 2 大宮の住民が、石井十次と岡山孤児院のゆかりの地である事に誇りと愛着を持つ 3 石井十次の精神を生かした支え合いの地域づくりを目指す 4 社会福祉法人 石井記念友愛社(宮崎県)との交流を深める 5 石井十次資料館を活用し、地域内外の人との交流を深め活動の輪を広げる
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 1 石井十次の偉業を伝えるため、石井十次資料室の活用を促進する 2 冊子「石井十次の教えを今に」を有効に活用し、より多くの人に周知する 3 ゆかりの地の訪問を毎年実施し、現地での学びを深める 4 十次ゆかりの地(上阿知大師堂)でのお接待を継続実施する 5 山南学園の児童・生徒と一緒に保全活動を実施し、十次の精神を次世代に伝える 6 「岡山孤児院発祥の地」案内パンフレットを活用し、団体研修や現地来訪者へ分かりやすく説明する 7 山南学園の児童・生徒に石井十次の偉業を伝え、郷土に愛着が持てるよう出前講座を開催する
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 大宮地区連合町内会、単位町内会、大宮地区コミュニティ協議会、民生委員、体協 大宮安全・安心ネットワーク、大宮小学校PTA、老人クラブ、愛育委員

事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 1 「十次通信」を年4回発行し、町内回覧するとともに、東区の主要な施設に配布する 2 活動をホームページで紹介する 3 十次通信や冊子を「みどりの図書館」や中央図書館で閲覧できるようにしている 4 新聞への記事掲載
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 1 大宮地区連合町内会を始め、地区各種団体と連携を強化する 2 「十次通信」を発行し活動内容を知らせる 3 HPを活用する 4 石井十次資料室を見学する機会を設ける 5 石井十次資料室を活用して、サロンや研修会の場とする
前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・各重点を記載して下さい。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 1 広める活動から、十次の教えを生かす活動に発展させたい 2 学習会やゆかりの地訪問などの活動に、地域外の人にも多く参加してもらうように努める 3 団体研修の内容をさらに充実する 4 役員会の機能を高める 5 活動組織（三部会）をさらに定着、充実する 6 次世代に語り継ぐために、学校と連携し出前講座や現地見学会を実施する 7 学習会や研修会はホームページに掲載するとともに、必要があれば新聞掲載して周知する 8 十次展の資料を基に資料室を開設し、多くの方に来訪してもらえるようにする 9 団体研修は県外からの申し込みにも対応する
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 ・今年度の事業を工夫し継続していく。また石井十次ゆかりの地を訪問し、見聞を広めると共に交流を深める ・支え合いの地域づくりとリンクさせる ・人権・福祉の面からSDGsに取り組み、高校生の研修を受け入れるとともに高校生と一緒に活動する ・地域内に十次の偉業や会の活動が分かるように、資料室の展示物を充実し活用機会を増やす ② 資金の確保について ☑ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □ （　）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他ＰＲしたい点	・団体向けの研修をHPやチラシで紹介し、実施している ・石井十次の教えを生かす活動として、大宮小学校の放課後児童教室において会員が中心となって支援してきたが、令和4年度からは山南学園の「学びスクール」において継続している ・「石井十次の教えを今に」の冊子や「岡山孤児院発祥の地」案内パンフレット、紙芝居等を、団体研修や学習会等の場で有効に活用している ・学校や各種団体への出前講座を実施している ・石井十次資料室を開設し活用している

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月	日	活動内容
4月		第1回役員会（総会資料の検討）
5月	21日	総会 保全活動（上阿知大師堂・診療所跡） 上阿知大師堂にてお接待
6月		「十次通信」22号の発行
7月		保全活動（石井十次資料室の周辺清掃） 大宮桃太郎まつりへの参加
8月		保全活動（品子と子どもたちの墓、炭谷小梅の墓の清掃）
9月		第2回役員会（当面の活動について） 「十次通信」23号の発行
10月		学習会または講演会の実施
11月		石井記念友愛社訪問（宮崎県）
12月		保全活動（上阿知大師堂・診療所跡） 「十次通信」24号の発行
1月	30日	石井十次の命日（上阿知大師堂へ献花）
2月		
3月		第3回役員会（今年度の反省と次年度に向けて） 地域フリーマーケットへの参加（於　石井十次資料室） 「十次通信」25号の発行

※　団体研修・出前講座は随時実施する

収支予算書

収　入

単位:円

項　目	前年度決算又は決算見込額	予算額	内　容
岡山市補助金	675,000	470,000	
実施団体負担金	70,000	50,000	連合町内会・コミュニティ協議会等
参加者負担金	100,000	120,000	1,000円×120人
協賛金	60,000	50,000	5,000円×10団体
寄附金、他収入	345,000	250,000	
収入合計	1,250,000	940,000	

支　出

単位:円

項　目	前年度決算又は決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	100,000	コピー・インク代・筆記用具等
②食糧費	100,000	120,000	お茶代・弁当代(会議・研修用)
③印刷製本費	620,000	300,000	研修会資料・十次通信・印刷費等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	30,000	100,000	切手代等
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料	100,000	100,000	ホームページ管理費・十次通信編集等
⑫工事請負費			
⑬報償費		20,000	講師謝礼
⑭保険料			
⑮旅費	200,000	200,000	ゆかりの地訪問
小計(①)	1,150,000	940,000	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費	100,000		
小計(②)	100,000	0	
支出合計(①+②)	1,250,000	940,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3／4)の概算払いを	(希望する) ・ 希望しない

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

活動資金が十分ではないため。

○　内容欄へは使用用途等を記入してください。
○　記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。